

高齢者福祉施設の避難確保における課題確認の質問項目

◎回答は、エクセルデータに直接ご入力ください。

本アンケートにおける、用語の定義は以下のとおりとします。

非常災害対策計画：介護保険法に基づく指定基準により、火災等の非常災害時に、関係機関への通報や連携体制の整備、避難方法等を施設があらかじめ定めておくべき計画です。

避難確保計画：水防法、土砂災害防止法等に基づいて社会福祉施設等の要配慮者利用施設が作成する洪水時、土砂災害発生時等において、利用者の円滑かつ迅速な避難を確保するための計画です。

洪水害：大雨などを原因として、河川の流量が異常に増加することによって堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こる災害を洪水害といいます。一般的には、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることにより起こる氾濫を洪水と呼んでいます。

土砂災害：がけ崩れ（急激に斜面が崩れ落ちる）、土石流（土砂が水と一体となり一気に下流に流れ出る）、地すべり（斜面がゆっくりと下方に滑り落ちる）の三種類の現象の総称です。

洪水浸水想定区域：最大規模の降雨による河川の氾濫で、浸水が想定される区域です。指定された区域及び浸水した場合の水深、浸水継続時間は洪水浸水想定区域図として公表され、洪水ハザードマップは、洪水浸水想定区域に基づき作成されます。

土砂災害警戒区域：土砂災害が発生した際に、住民の生命や身体に危害が生ずるおそれがあると認められ、警戒避難体制を特に整備する必要がある区域（通称「イエローゾーン」）です。なお、土砂災害警戒区域の中でも、建物の損壊が生じるなど、特に危険な区域を「土砂災害特別警戒区域（通称「レッドゾーン」）といいます。「土砂災害特別警戒区域」内に位置している施設は、本アンケートにおいては「土砂災害警戒区域」内に位置していると読み替えてご回答ください。

浸水深：最大規模の降雨による河川の氾濫で、浸水した場合に想定される水深です。洪水浸水想定区域図や洪水ハザードマップで確認できます。

避難計画：ここでは、非常災害対策計画もしくは避難確保計画とします。

避難準備情報・高齢者等避難開始：高齢者等は立退き避難、その他の者は立退き避難の準備をし、自発的に避難を呼びかける情報です。

【避難計画の内容の適切性の確認】

問1：施設が位置する区域について、該当するものを1つ選択してください。

1. 洪水浸水想定区域
2. 土砂災害警戒区域（土砂災害特別警戒区域も含む。以下、全て同じ）
3. 洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域の両方
4. 該当なし

4. を選択した場合は、ここで調査終了です。ご協力ありがとうございました。

問2：問1で「1. 洪水浸水想定区域」あるいは「3. 洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域の両方」を選択した場合、想定される浸水深を1つ選択してください。

1. 0.5m 未満
2. 0.5m～3m 未満
3. 3m～5m 未満
4. 5m～10m 未満
5. 10m～20m 未満
6. 20m 以上

問3：施設の避難確保計画について、該当するものを1つ選択してください。

1. 洪水害の避難確保計画を作成済み → 問4は回答不要
2. 土砂災害の避難確保計画を作成済み → 問4は回答不要
3. 洪水害と土砂災害の避難確保計画を作成済み
4. 作成していない → 問4、問6は回答不要

問4：問3で「3. 洪水害と土砂災害の避難確保計画を作成済み」とした場合、洪水害と土砂災害の避難確保計画を一元化して作成していますか。

1. はい
2. いいえ

問5：施設の非常災害対策計画を作成していますか。

1. はい
2. いいえ

問6：問5で「1」を選択するとともに、問3で「1～3」を選択した場合にお答えください。
避難確保計画と非常災害対策計画を一元化して作成していますか。

1. はい
2. いいえ

問7：避難確保計画を作成するにあたって、困ったことやご意見等がありましたら記入してください。
(自由記載)

問8：非常災害対策計画または避難確保計画（以下「避難計画」という。）で定めている避難先について、該当するものを選択してください。（複数選択可）

1. 自治体の指定する避難先
2. 施設の安全な場所
3. 同法人（グループ法人含む）が経営する他の施設
4. その他（ ）

問9：避難先について、災害の種類に応じた避難先になっていますか。

1. はい
2. いいえ

問10：問9で「1. はい」を選択した場合、どのような理由で避難先を選定されたか、該当するものを選択してください。(複数選択可)

1. 洪水害に備えて、浸水が想定されるよりも高い施設の上階を避難先に選定
2. 洪水害に備えて、洪水浸水想定区域外を避難先に選定
3. 土砂災害に備えて、土砂災害警戒区域外を避難先に選定
4. その他 ()

問11：平成29年以降、利用者が施設以外の避難先に、実際に移動するような避難訓練を実施したことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問12：問11で「2. いいえ」とした場合、実施していない(できない)理由等があれば、記入してください。(自由記載)

問13：避難計画に定めた避難先で、入所者のケアなどの事業継続が可能な場所がありますか。

1. はい
2. いいえ

問14：問13で「2. いいえ」とした場合、その理由があれば、記入してください。(自由記載)

問15：災害経験や避難訓練の結果を踏まえて、避難計画を見直したことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問16：避難計画の内容を定期的に見直す必要があると考えますか。

1. はい
2. いいえ

問17：避難計画の作成または見直しを行う際に、それらの内容に関して、市区町村や専門家などから助言等を受けたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問18：問17に関連して、避難計画の作成または見直しを行う際に、それらの内容に関して、市区町村や専門家からの助言等が必要と感じますか。

1. はい
2. いいえ

【施設職員の人材育成、施設の体制と整備】

問 19：施設職員に対して、避難計画の内容を定期的に説明していますか。

1. はい
2. いいえ

問 20：災害発生が予想される場合や災害発生時に、避難計画どおりに職員が参集できないことを想定していますか。

1. はい
2. いいえ

問 21：問 20で「1. はい」とした場合、どのような対応を検討しているか記入してください。（自由記載）

問 22：台風や大雨など事前に災害の発生が予想される場合、職員を増員するなど勤務体制の強化をしていますか。

1. はい
2. いいえ

問 23：問 22で「2. いいえ」とした場合、強化できない理由などあればご記入ください。また、その他の対策を取っている場合は、その内容を記入してください。（自由記載）

問 24：施設において、防災の観点から職員や利用者^{けんいん}を牽引するような職員（以下「防災リーダー」という。）をあらかじめ決めてありますか。

1. はい
2. いいえ

問 25：問 24「1. はい」を選択した場合、防災リーダーの役割に該当するものを選択してください。（複数選択可）

1. 避難開始の判断を検討する
2. 他の職員や利用者に防災知識を普及する
3. 防災研修等を受講する
4. 災害時に行政と連絡調整を実施する
5. 避難計画の見直しを実施する
6. その他（ ）

問 2 6 : 問 2 5 に関連して、市区町村から避難準備・高齢者等避難開始情報が発令されたら防災リーダーは参集することになっていますか。

1. はい
2. いいえ

問 2 7 : 市区町村から避難準備・高齢者等避難開始情報が発令されたとき、利用者を避難させることに対しての心配ごとや悩みごとについて、該当するものを選択してください。(複数選択可)

1. 避難先で入所者のケアの継続ができるかどうか心配
2. 入所者が安全に避難先まで移動できるかどうか心配
3. 施設内で円滑に避難するための整備が十分に整っているか心配
4. 特に心配ごとや悩みごとは無い
5. その他 ()

問 2 8 : 問 2 7 で「4. 特に心配ごとや悩みごとは無い」以外を選択した場合は、避難に関する環境がどのように改善されれば、心配なく避難できると思うか記入してください。(自由記載)

問 2 9 : 施設が 2 階以上の建物の場合、ご回答ください。施設にエレベーターを設置していますか。

1. はい
2. いいえ

問 3 0 : 施設が 2 階以上の建物の場合、ご回答ください。停電時は、エレベーターが使用できないことが考えられますが、その際、どのような避難を計画しているか記入してください。
(自由記載)

問 3 1 : 洪水害に対する避難では、建物の上階へ避難することが有効ですが、その際、どの方法で避難するのが有効だと思いますか。該当するものを選択してください。(複数選択可)

1. 階段
2. エレベーター
3. スロープ
4. 階段移動用リフト
5. その他 ()

問 3 2 : 問 3 1 で選択したものについて具体的にどういった利用を考えているか記入してください。(自由記載)

問33：非常用自家発電設備等を整備している場合のみご回答ください。整備されているものについて、該当するものを選択してください。(複数選択可)

1. 非常用自家発電設備(軽油、灯油、重油)
2. 非常用自家発電設備(LPガス)
3. 非常用自家発電設備(天然ガス)
4. 可搬式(ポータブル型)発電機
5. UPS(無停電電源設備)
6. 小型バッテリー
7. その他()

問34. 断水時における水の確保のための給水設備を整備していますか。

1. はい
2. いいえ

※問33. 問34. の項目等の詳細について、令和元年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)により実施された調査研究事業の報告書(下記URL)をご参照ください。

<https://www.jri.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/04/2019hijouyou.pdf> (一般財団法人日本総合研究所)

問35: 避難に有効な施設の設備や改築について、市区町村や専門家から助言等が必要と感じますか。

1. はい
2. いいえ

【関係者との連携】

問36: 地域住民など避難時の協力者をあらかじめ決めてありますか。

1. はい
2. いいえ

問37: 問36で「1. はい」とした場合は、施設の防災訓練に協力者の方は、参加していますか。

1. はい
2. いいえ

問38: 施設利用者の避難に関して、他機関(他施設、地域企業、行政等)からどのような支援を受けていますか。該当するものを選択してください。(複数選択可)

1. 他施設からの避難の受け入れ協力
2. 協定等を結んでいる地域企業からの避難活動の協力
3. 防災の観点からの施設整備補助金等
4. 施設の避難計画の作成
5. その他()

問39：施設利用者の避難に関して、今後、他機関（他施設、地域企業、行政等）からどのような支援が必要だと感じますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）

1. 他施設からの避難の受け入れ協力
2. 協定等を結んでいる地域企業からの避難活動の協力
3. 防災の観点からの施設整備補助金等
4. 施設の避難計画の作成
5. その他（ ）

【その他】

問40：施設利用者の避難に関して、困っていることや不安なことがあれば記入してください。（自由記載）

※調査終了です。ご協力ありがとうございました。